

愛知医科大学病院を受診している患者さん及びご家族の皆さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	セフメタゾール(CMZ)通常量群(2g×2/日)および高用量群(2g×3/日)の有効性と安全性の比較検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	感染症科
研究責任者	感染症科 教授 三鴨廣繁
研究の意義・目的	薬物動態学および力学的データの観点から、患者の重症度など応じて必要と判断される症例では、セフメタゾール(CMZ)の添付文書で推奨されている用量(1-2g×2/日)よりも高用量(2g×3/日)での投与も実施されます。CMZ高用量投与は臨床的な有効性の向上が期待できます。そこで、CMZ通常量(2g×2/日)および高用量(2g×3/日)の臨床的有效性および安全性を比較検討します。
対象となる患者さん	2014年12月から2021年2月までに当院にてCMZを投与された18歳以上の患者さん。
研究の方法	調査期間中に、CMZが投与された患者さんの検査値変化および症状変化を調査させていただきます。調査にあたり、臨床情報などをカルテから収集して利用させていただきます。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2025年3月31日
個人情報の取り扱い	利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 情報などの本研究への利用を拒否される方は、2025年3月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。また、保有する個人情報の開示や、利用目的の開示をご希望の場合も、同様に下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 薬剤部 担当者：薬剤師 柴田祐一 電話 0561-62-3311(内線 34036)